

「よりの一層の安全性を実現！ 新時代型の除菌消臭」

《セイバープラスZ》は“人と自然にやさしい”除菌消臭剤です。

新視点からの研究開発で、既存製品の様々な課題をクリアしました。

《セイバープラスZ》は酸などを混和しない次亜塩素酸ナトリウム単一製品です。

セイバープラスZは、医師会、厚生労働省が推奨する有効塩素濃度200ppmです。

空間噴霧できるのが最大の特徴です。

医療・工業・食品関連など、

さまざまな場所で

力を発揮します。



旧パッケージ
有効塩素濃度
100ppm



新パッケージ
有効塩素濃度
200ppm

製品特徴

● 強力な瞬間除菌

瞬時にウイルス・細菌を不活性化し、強力な除菌能力を発揮します。

さまざまなウイルス・菌類をわずか数十秒で99.9%以上の除菌が複数の検査機関で実証されました。

(検査機関/財)日本食品分析センター、(社)畜産生物科学安全研究所、(社)東京食品研究所、(財)北里環境科学センター)

※除菌の検査データを参照ください。

● 刺激性なし

塩素系の強力な除菌作用が有りながら、塩素臭がほとんどしません。香料などは一切使用しておりません。

● 漂白性なし

通常のご使用の範囲で噴霧していただく上では、色落ちもなく、色柄物の衣服やカーペットなどにも安心して使えます。

● 人体・環境への安全性

食品添加物として認定した次亜塩素酸ナトリウムを、精製方法から研究し、金属腐食、化学反応による有毒な塩素ガスやトリハロメタンの生成など、次亜塩素酸ナトリウムを使用した従来製品の課題をクリアし、安全に使用できるよう作られています。そのため、お子様、高齢者の方、妊娠されている方がいらっしゃる環境でも安心です。もちろん、大切なペットにも安全です。

● 単一性(酸類など混入していません)

セイバープラスZは酸などを混和しない次亜塩素酸ナトリウムの単一製品のため容器内での化学変化がおきません。(弱アルカリ性)

● スギ花粉・ハウスダストに効果

スギ花粉アレルギーやハウスダストの原因の一つであるダニアレルゲンも低減します。

使用用途

① 医療機関

- テーブル・椅子・ドアノブなどの人が触れる部分へ直接噴霧して、清潔な布巾で拭いてください。(噴霧後15秒前後待ってから拭きあげてください)
- 救急車・送迎車の車内に噴霧する
- 診療室・待合室・談話室・病室・入口などの空間へ噴霧し、除菌・消臭・感染予防できます。
- おう吐物・周辺に直接噴霧し、取り除いた後のフロアなどにも噴霧してください。
- 市販品の超音波式加湿器にもご使用いただけます。



② 食品(食品工場・飲食店・お台所など)

- テーブル、調理台、包丁、まな板、冷蔵庫内、シンク、配膳車、配膳トレー、容器、スライサーに噴霧して下さい。
- 店内、工場内、調理場の空間などに噴霧または、超音波式噴霧器でも使用できます。

③ 公共施設 (公共エリア・保育園・幼稚園・学校・宿泊施設・会社事務所・リビング・カラオケボックス・理容室・美容室・トイレ交通機関など)

- テーブル・椅子・ドアノブ・おもちゃの除菌。
- おもちゃなどに直接噴霧して除菌してください。
- 室内・車内・施設内の空間に直接噴霧して下さい。
- 理容室・美容室のハサミなどの除菌。
- 市販品の超音波式加湿機にも使用いただけます。



④ ペット(ペットショップ・動物病院など)

- 室内・店内・院内の空間に直接噴霧して下さい。
- 排泄物に直接噴霧してにおいを軽減させることもできます。
- おう吐物・周辺に直接噴霧して、取り除いた後フロアなどに噴霧して下さい。
- マーキングの消臭。
- バギーの消臭・除菌。

● においを分解消臭

におい成分そのものを分解し、しっかり、すっきりと消臭。香料の上乗せや、においを一時的に包み込むマスキングとは異なる消臭法なので、タバコ・ペット・汚物などの8大悪臭も分解し、さわやかな空間をすぐに体感できます。

● 腐食性なし

塩素系製品で見られる金属への腐食の心配がなく、ドアノブ、手すりなどにも安心して使用できます。包丁や調理台などの金属類にも安心してご利用いただけます。(水と同程度とお考えください)

● 長期安定性

品質の安定期間が2年間と長く、その後も有効塩素濃度が保持され急激に劣化することはありません。(常温室内・冷暗所で保管してください)

8大悪臭とは?

悪臭の元となる物質を化学的に分解するので、根本的に消臭します。微生物が有機物を分解させて発生させる悪臭も制御します。環境省指定の『8大悪臭』を無臭化します。

- | | |
|-------------------------------|------------------------|
| ① アンモニア
トイレ臭成分、
肉の腐敗臭 | ⑤ メチルメルカプタン
野菜の腐敗臭 |
| ② 硫化水素
トイレ臭成分、卵や
野菜の腐敗臭 | ⑥ 硫化メチル
野菜の腐敗臭 |
| ③ トリメチルアミン
魚の腐敗臭 | ⑦ 二硫化メチル
野菜の腐敗臭 |
| ④ スチレン
プラスチックを
燃やした臭い | ⑧ アセトアルデヒド
タバコの臭い成分 |

採用事例



薬剤師が自信を持ってすすめられる製品です



カメイ(株)ファーマシーグループ薬局



歯科医院では感染防止用にユニット(診察台)と待合室セイバーZを採用しています



スマイル歯科クリニック



セイバーZには金属腐食の心配がないので使用後のリハビリ器具の除菌に採用しています

入船整形外科形成外科クリニック



美容院のパーマ液の臭いタオルの除菌消臭

美容室



食品工場ではセイバーZで調理器具の除菌・消臭に採用され、生産ラインの安全管理に役立てていただいています

食品製造・販売 株式会社大堀



ペットの除菌消臭

ドッグブリーダーフルール・デリース(山梨)

製品テストデータ①

ウイルス不活性化試験

検体：セイバーZ 有効塩素濃度100ppm 試験依頼先：一般財団法人日本食品分析センター
試験成績書発行番号：第12119062001-01

試験ウイルス	対象	log TCID ₅₀ /mL*1			
		開始時	15秒後	30秒後	60秒後
インフルエンザウイルス	検体	6.5	<1.5	<1.5	<1.5
	対照	6.5	-	-	6.0
ノロウイルス (ネコカリシウイルス)*2	検体	5.6	<1.5	<1.5	<1.5
	対照	5.6	-	-	6.3
アデノウイルス	検体	7.3	1.7	<1.5	<1.5
	対照	7.3	-	-	7.3

- TCID₅₀: median tissue culture infectious dose, 50%組織培養感染量
- 開始時: 作用開始直後の対象のTCID₅₀を測定し、開始時とした。
- 対照: 精製水
- 保存温度: 室温
- : 実施せず <1.5: 検出せず
- *1 作用液1mL当たりのTCID₅₀の対数値
- *2 ノロウイルスの代替ウイルス

ウイルス不活化効果試験

検体：セイバーZ 有効塩素濃度100ppm 試験依頼先 (財)畜産生物科学安全研究所
試験番号: 08-154-1

試験ウイルス	対象	感作時間とウイルス含有量の推移			
		混合直後	1分	3分	
コロナウイルス	試験液	平均値	≤1.5	≤1.5	≤1.5
	対照液	LRV	≥3.9	≥3.8	≥4.0
	平均値	5.4	5.3	5.5	

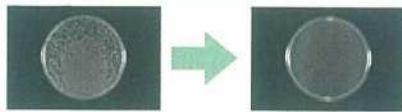
試験ウイルス	対象	感作時間とウイルス含有量の推移			
		混合直後	1分	3分	
パルボウイルス	試験液	平均値	3.4	≤1.5	≤1.5
	対照液	LRV	2.3	≥4.3	≥4.2
	平均値	5.7	5.8	5.7	

- 対照液: 精製水
- ウイルス含有量は、試料1mLあたりの値を対数変換して記載。
- ≤1.5: 検出せず
- LRVが2以上のとき有効と判定。また、LRVが1以下の場合、試験品はウイルス不活化効果がないものと判断
- LRV(Log Reduction Value)=log₁₀A-log₁₀B
- A: 対照サンプル液のウイルス含有量(TCID₅₀/mLまたはPFU/mL)
- B: 試験サンプル液のウイルス含有量(TCID₅₀/mLまたはPFU/mL)

殺菌効果試験

検体：セイバーZ 有効塩素濃度100ppm 試験依頼先：一般財団法人日本食品分析センター 試験成績書発行番号：第12119062001-02号

試験菌	対象	生菌数(/mL)			
		開始時	15秒	30秒	60秒
アシネトバクター	検体	9.7×10 ₅	<10	<10	<10
	対照	9.7×10 ₅	-	-	1.2×10 ₆
Actinomyces viscosus	検体	7.7×10 ₅	<10	<10	<10
	対照	7.7×10 ₅	-	-	8.4×10 ₅
セパシア菌	検体	9.7×10 ₅	<10	<10	<10
	対照	9.7×10 ₅	-	-	7.8×10 ₅
カンピロバクター	検体	2.4×10 ₅	<100	<100	<100
	対照	2.4×10 ₅	-	-	2.1×10 ₆
VRE	検体	6.7×10 ₅	20	<10	<10
	対照	6.7×10 ₅	-	-	6.7×10 ₅
大腸菌	検体	7.2×10 ₅	<10	<10	<10
	対照	7.2×10 ₅	-	-	9.0×10 ₅
大腸菌 (O157:H7)	検体	5.6×10 ₅	<10	<10	<10
	対照	5.6×10 ₅	-	-	7.0×10 ₅
ピロリ菌	検体	6.6×10 ₇	<10000	<10000	<10000
	対照	6.6×10 ₇	-	-	1.0×10 ₆
肺炎桿菌	検体	7.6×10 ₅	<10	<10	<10
	対照	7.6×10 ₅	-	-	7.6×10 ₅
乳酸菌	検体	9.7×10 ₅	<10	<10	<10
	対照	9.7×10 ₅	-	-	1.3×10 ₆



※菌液接種直後の対象の生菌数を測定し、開始時とした
対照: 精製水
(黄色ブドウ球菌及びMRSAは生理食塩水、腸炎ピロリオは3%塩化ナトリウム溶液)
保存温度: 室温 -: 実施せず <10, <100及び<10000: 検出せず

試験菌	対象	生菌数(/mL)			
		開始時	15秒	30秒	60秒
レジオネラ	検体	2.6×10 ₆	2.5×10 ₅	1.6×10 ₃	<100
	対照	2.6×10 ₆	-	-	2.1×10 ₆
リステリア	検体	1.6×10 ₆	<10	<10	<10
	対照	1.6×10 ₆	-	-	1.6×10 ₆
ジンジパリス菌	検体	1.3×10 ₈	1.6×10 ₄	<100	<100
	対照	1.3×10 ₈	-	-	1.7×10 ₈
アクネ菌	検体	5.0×10 ₅	<10	<10	<10
	対照	5.0×10 ₅	-	-	6.9×10 ₅
緑膿菌	検体	6.1×10 ₅	<10	<10	<10
	対照	6.1×10 ₅	-	-	6.5×10 ₅
サルモネラ	検体	8.9×10 ₅	<10	<10	<10
	対照	8.9×10 ₅	-	-	7.2×10 ₅
セラチア	検体	9.4×10 ₅	<10	<10	<10
	対照	9.4×10 ₅	-	-	7.3×10 ₅
赤痢菌	検体	6.2×10 ₅	<10	<10	<10
	対照	6.2×10 ₅	-	-	7.6×10 ₅
黄色ブドウ球菌	検体	7.3×10 ₅	1.7×10 ₅	<10	<10
	対照	7.3×10 ₅	-	-	8.6×10 ₅
MRSA	検体	6.2×10 ₅	2.1×10 ₃	<10	<10
	対照	6.2×10 ₅	-	-	5.8×10 ₅
化膿連鎖球菌	検体	7.2×10 ₅	<10	<10	<10
	対照	7.2×10 ₅	-	-	5.4×10 ₅
腸炎ピロリオ	検体	1.1×10 ₅	<10	<10	<10
	対照	1.1×10 ₅	-	-	1.1×10 ₅



製品テストデータ②

試験目的

貴社提供の試験品「セイバープラス Z」による、硬質表面に付着させた細菌および真菌に対する除菌効果を評価した。

試験機関

名称: 一般財団法人 北里環境科学センター
 所在地: 〒252-0329 神奈川県相模原市南区北里 1-15-1
 担当: 微生物部 バイオ技術課



表1. 大腸菌に対する除菌試験結果

試験品	繰返し数	作用時間								除菌活性値 ^{※4} (A-B) 作用15秒
		0(初期) ^{※3}		15秒		30秒		1分		
		CFU/試験片	対数値	CFU/試験片	対数値	CFU/試験片	対数値	CFU/試験片	対数値	
対照 生理食塩液	n1	9.2 × 10 ⁵	5.964					2.7 × 10 ⁵	5.431	
	n2	7.6 × 10 ⁵	5.881					3.8 × 10 ⁵	5.580	
	n3	1.5 × 10 ⁶	6.176					5.6 × 10 ⁵	5.748	
	平均値		6.01 (A)						5.59	
セイバープラスZ	n1			<10	1.000	<10	1.000	<10	1.000	5.0
	n2			<10	1.000	<10	1.000	<10	1.000	
	n3			<10	1.000	<10	1.000	<10	1.000	
	平均値				1.00 (B)		1.00		1.00	

● 試験菌: Escherichia coli NBRC3972 (大腸菌) ● 検出限界値: 10 CFU/試験片 ● 接種菌数: 2.3 × 10⁶ CFU/試験片

※3: 乾燥直後の菌数

※4: 除菌活性値=A-B

A: 初期生菌数の常用対数値をとり、n3 枚について平均した値

B: 試験品噴霧後 15 秒間作用後の生菌数の常用対数値をとり、n3 枚について平均した値

表2. 黄色ぶどう球菌に対する除菌試験結果

試験品	繰返し数	作用時間								除菌活性値 ^{※4} (A-B) 作用15秒
		0(初期) ^{※3}		15秒		30秒		1分		
		CFU/試験片	対数値	CFU/試験片	対数値	CFU/試験片	対数値	CFU/試験片	対数値	
対照 生理食塩液	n1	2.6 × 10 ⁶	6.415					2.2 × 10 ⁶	6.342	
	n2	2.6 × 10 ⁶	6.415					2.2 × 10 ⁶	6.342	
	n3	2.5 × 10 ⁶	6.398					2.2 × 10 ⁶	6.342	
	平均値		6.41 (A)						6.34	
セイバープラスZ	n1			<10	1.000	<10	1.000	<10	1.000	5.4
	n2			<10	1.000	<10	1.000	<10	1.000	
	n3			<10	1.000	<10	1.000	<10	1.000	
	平均値				1.00 (B)		1.00		1.00	

● 試験菌: Staphylococcus aureus NBRC12732 (黄色ぶどう球菌) ● 検出限界値: 10 CFU/試験片 ● 接種菌数: 2.1 × 10⁶ CFU/試験片

※3: 乾燥直後の菌数

※4: 除菌活性値=A-B

A: 初期生菌数の常用対数値をとり、n3 枚について平均した値

B: 試験品噴霧後 15 秒間作用後の生菌数の常用対数値をとり、n3 枚について平均した値

表3. 白癬菌に対する除菌試験結果

試験品	繰返し数	作用時間				除菌活性値 ^{※4} (A-B) 作用10分
		0(初期) ^{※3}		10分		
		CFU/試験片	対数値	CFU/試験片	対数値	
対照 生理食塩液	n1	2.8 × 10 ⁴	4.447	2.8 × 10 ⁴	4.447	
	n2	3.4 × 10 ⁴	4.531	3.0 × 10 ⁴	4.477	
	n3	2.0 × 10 ⁴	4.301	2.6 × 10 ⁴	4.415	
	平均値		4.43 (A)		4.45	
セイバープラスZ	n1			<100	2.000	2.4
	n2			<100	2.000	
	n3			<100	2.000	
	平均値				2.00 (B)	

● 試験菌: Trichophyton mentagrophytes NBRC5466 (白癬菌) ● 検出限界値: 100 CFU/試験片

● 接種菌数: 9.0 × 10⁴ CFU/試験片

※3: 乾燥直後の菌数

※4: 除菌活性値=A-B

A: 初期生菌数の常用対数値をとり、n3 枚について平均した値

B: 試験品噴霧後 10 分間作用後の生菌数の常用対数値をとり、n3 枚について平均した値

ダニアレルゲン・スギ花粉アレルゲンへの効果を実証!

アレルゲン不活化試験

ダニアレルゲン(Der f 1:コナヒヒョウダニ排泄物由来アレルゲン)の濃度及び低減率

試料名: セイバーZ 100ppm 対照名: 精製水 反応温度: 室温 反応時間: 1分
 初期溶液 設定濃度: 100ng/mL 実測値: 115.55ng/mL 試験機関: ITEA株式会社 東京環境アレルギー研究所

試料および対照名	No	アレルゲン濃度 (ng/mL)	対照に対する低減率(%)	試料および対照名	No	アレルゲン濃度 (ng/mL)
セイバーZ	1	17.69	84.9	精製水	1	89.46
	2	12.84			2	90.85
	3	9.03			3	82.15
	Average	13.19			Average	87.49
	SD	4.34			SD	4.68

試料「セイバーZ 100ppm」および対照「精製水」にアレルゲン溶液(ダニアレルゲンDer f 1)を添加し反応させ、反応後の溶液のダニアレルゲンDer f 1の濃度をELISAにて測定しました。

試料「セイバーZ 100ppm」と反応させたアレルゲン溶液のダニアレルゲンDer f 1濃度は、対照「精製水」と反応後のそれと比較し、**84.9%低減しました。**

※マイクロチューブ容器内テスト結果

スギ花粉アレルゲン(Cry j 1)の濃度及び低減率

試料名: セイバーZ 100ppm 対照名: 精製水 反応温度: 室温 反応時間: 1分
 初期溶液 設定濃度: 100ng/mL 実測値: 98.55ng/mL 試験機関: ITEA株式会社 東京環境アレルギー研究所

試料および対照名	No	アレルゲン濃度 (ng/mL)	対照に対する低減率(%)	試料および対照名	No	アレルゲン濃度 (ng/mL)
セイバーZ	1	13.70	88.2	精製水	1	102.59
	2	11.85			2	111.14
	3	11.93			3	103.18
	Average	12.49			Average	105.64
	SD	1.05			SD	4.78

試料「セイバーZ 100ppm」および対照「精製水」にアレルゲン溶液(スギ花粉アレルゲンCry j 1)を添加し反応させ、反応後の溶液のスギ花粉アレルゲンCry j 1の濃度をELISAにて測定しました。

試料「セイバーZ 100ppm」と反応させたアレルゲン溶液中のスギ花粉アレルゲンCry j 1濃度は、対照「精製水」と反応後のそれと比較し、**88.2%低減しました。**

※マイクロチューブ容器内テスト結果

安全性試験結果

試験種別	試験内容(対象)	結果	実施機関
安全性試験	マウスに対する急性毒性試験(経口) マウスに対する局所刺激性試験(眼粘膜) マウスに対する局所刺激性試験(皮膚)	異常なし	(株)東京食品技術研究所



※パッケージ・仕様は、予告なしに変更する場合があります。

※20L詰替タンクも用意しております。